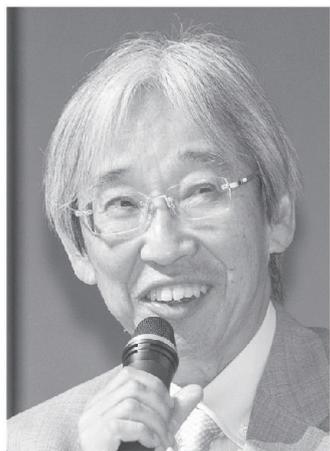


# 禁煙で安全性とコスト力高めよう

喫煙は健康に害があるだけでなく、労働時間のロスや生産性の低下、受動喫煙の問題など労働環境にも多大な影響があります。広島県内の中小企業が加入する全国健康保険協会(協会けんぽ)広島支部はこのほど、「健康と経営を考える喫煙対策セミナー」を広島県医師会館(広島市東区)で開きました。パネルディスカッションでは、「経営の効率化に向けた喫煙対策」をテーマに、禁煙の必要性について、有識者が意見を交わしました。(コーディネーターは広島県医師会常任理事、禁煙推進委員会担当理事の津谷隆史さん)



公益財団法人中国労働衛生協会  
理事長

## 宮田 明さん

みやた・あきら 1950年福山市生まれ。74年岡山大学医学部を卒業後、公立学校共済組合中国中央病院副院長(兼血液内科部長)、尾道市立市民病院長などを経て、2015年から現職。



中国労働衛生協会は広島県東部や岡山県、山陰地方などにある検診所で、年間約23万人の健康診断事業を実施しています。

**向井** 日本最大の保険者として、

一度(年齢)を出してみると、成人男性が広島県の平均より1.67倍高い40.8%、女性も8.3%上回る13.4%です。働き盛りの世代の喫煙率が高いのが問題です。

—職場に喫煙者が多いデメリットは、

**向井** 喫煙者が起こす労働災害の確率は、喫煙していない人より1.5倍も高いというデータが出ています。また、1日に何度もタバコを吸うことによって生産性が落ち、労働時間の損失は人件費に換算すると1人当たり年間30万円にもなるそうです。喫煙が健康面だけでなく、安全性やコストに深く関係していることが分かります。経営者も従業員の禁煙に本気になるのではないのでしょうか。

<コーディネーター>



広島県医師会常任理事  
禁煙推進委員会担当理事

## 津谷 隆史さん

つや・たかふみ 1954年広島市生まれ。80年昭和大学医学部を卒業後、中国労災病院呼吸器科部長などを経て、2000年津谷内科呼吸器科クリニックを開設。14年から現職。

—職場に喫煙者が多いデメリットは、

**向井** 喫煙者が起こす労働災害の確率は、喫煙していない人より1.5倍も高いというデータが出ています。また、1日に何度もタバコを吸うことによって生産性が落ち、労働時間の損失は人件費に換算すると1人当たり年間30万円にもなるそうです。喫煙が健康面だけでなく、安全性やコストに深く関係していることが分かります。経営者も従業員の禁煙に本気になるのではないのでしょうか。

—ありがとうございます。

—禁煙外来は有効ですか。

**宮田** 喫煙がやめられない人は「ニコチン依存症」という病名が付き、保険で治療を受けることができます。禁煙外来に行くのと飲み薬や貼り薬を処方され、5回の通院(12週間)で禁煙できます。一方、服薬しないで禁煙できる人は5%にすぎません。

難しいのは、禁煙外来にどう足を運んでもらうかです。経営者は従業員に、喫煙のデメリットやニコチン依存の怖さとともに、禁煙外来についてのもしっかりと情報提供してほしいですね。

当協会でも、健診を実施している従業員50人以上の企業に、喫煙対策マニュアルの冊子を配っています。また、健診の際に短時間でも、保健師などによる禁煙指導ができないかと考えています。

**中川** 当社では、従業員が禁煙外来を受診する際には、特別休暇を取得できるようにして受診しやすい体制を整えています。また、私自身も喫煙している従業員に声を掛けて禁煙を促していくつもりです。

今後とも健康経営を続け、会社の成長につなげていきます。

**向井** 企業の経営者は、職場での安全面には非常に敏感ですが、従業員の健康には関心を示す傾向はあまりありませんでした。しかし、少子高齢化で人手不足が深刻になってくると、従業員の健康に気を付けなくては安定的な経営は望めません。そのため、健康に害がある喫煙への対策は欠かせません。企業ぐるみで禁煙に取り組んでほしいものです。

## 働く世代の高い喫煙率 健康経営が企業の目標 タバコ依存保険で治療

向井さん

中川さん

宮田さん

—最初に、それぞれが所属している企業や機関の紹介をお願いします。

**中川** 当社は1952年に創業した廃棄物処理業者です。従業員は約2000人。2014年度にスタートさせた長期経営計画では「健康経営」を掲げ、従業員と家族の健康を会社としてサポートする体制の構築を目指しています。

具体的には、定期健診の項目を増やしたり、広島県が実施している「Teamがん対策ひろしま」に登録したりしています。

**宮田** 福山市に本部を置

である協会けんぽの広島支部は、広島県内の中小企業4万7千社が加入しています。その従業員や家族は105万人もおり、広島県の人口の37%を占めています。

—喫煙率の状況について、どのような感触がありますか。

**宮田** 当協会での問診による喫煙率(13年度)は、男性の場合が全国平均より12.5%も高い44.7%。女性も全国平均を3.9%上回る12.1%です。各事業所で有効な喫煙対策が実施されていないと感じています。

**向井** 当支部も健診を受けた被保険者の喫煙率(13

宮田 吸わない人がタバコの煙の影響を受ける受動喫煙も、健康リスクが高くなるために問題となっています。厚生労働省の研究班によると、受動喫煙が原因で死亡する人は年間約1万5千人に上ると推計されています。

昨年6月には、労働安全衛生法の一部が改正され、国の助成金を受けて職場に喫煙室を設置できるようになりました。しかし、それでは完全に受動喫煙を防ぐことはできません。屋内全面禁煙が理想です。

—禁煙に向け、どのような対策が必要なのでしょうか。

35%あり、効果はあると思います。

—禁煙外来は有効ですか。

**宮田** 喫煙がやめられない人は「ニコチン依存症」という病名が付き、保険で治療を受けることができます。禁煙外来に行くのと飲み薬や貼り薬を処方され、5回の通院(12週間)で禁煙できます。一方、服薬しないで禁煙できる人は5%にすぎません。

難しいのは、禁煙外来にどう足を運んでもらうかです。経営者は従業員に、喫煙のデメリットやニコチン依存の怖さとともに、禁煙外来についてのもしっかりと情報提供してほしいですね。

当協会でも、健診を実施している従業員50人以上の企業に、喫煙対策マニュアルの冊子を配っています。また、健診の際に短時間でも、保健師などによる禁煙指導ができないかと考えています。

**中川** 当社では、従業員が禁煙外来を受診する際には、特別休暇を取得できるようにして受診しやすい体制を整えています。また、私自身も喫煙している従業員に声を掛けて禁煙を促していくつもりです。

今後とも健康経営を続け、会社の成長につなげていきます。



全国健康保険協会(協会けんぽ)  
広島支部長

## 向井 一誠さん

むかいいっせい 1944年広島市生まれ。68年慶応大を卒業後、広島銀行に入行。同行常務取締役、ひろぎん経済研究所理事長を経て2008年から現職。



株式会社オガワエコノス  
取締役副会長兼社長

## 中川 俊信さん

なかがわとしのぶ 1950年福山市生まれ。72年福岡大を卒業後、2006年オガワエコノス入社。取締役副会長を経て14年から現職。

協会けんぽシンポジウム  
健康と経営を考える喫煙対策セミナー